

八千把小学校だより 「おおきな希望」

第5号 令和2年7月1日 (水)

《文責：校長》

どこにいるのかな？ 子供たちは一生懸命川の生き物を見つけました



6月23日(火)に、2年生が川の生き物を探し、とらえ、観察しました。晴れた日、子供たちは元気に泳ぎ、水の中を泳ぐ姿が、とても可愛らしかったです。準備物をご用意いただきました保護者の皆様、

子供たちはすぐに目標をチェンジし、アメンボウや小まじゅくや小たまじゅくなど、いろいろな生き物を見つけました。なかにはおたまじゅくや小たまじゅくなど、なかなか見つからない生き物もたくさんありました。これからしっかりと観察していきましょう。準備物をご用意いただきました保護者の皆様、ありがとうございます。

「ふくそうをととのえよう大作戦!」、「食缶空っぽ大作戦!」 給食委員会の大挑戦で、食べることの大切さを学ぼう

6月は食育月間でした。給食委員会では、「ふくそうをととのえよう大作戦!」や「食缶空っぽ大作戦!」を企画し、給食の準備で服装を正しく整えることが清潔な給食につながることに、食べ物を大切にすることを、八千把小学校のみんなに提案して



くれました。ここで、「ふくそうをととのえよう大作戦!」の結果を発表したいと思います。6月8日(月)から12日(金)の5日間すべてパーフェクトだったクラスは、2年3組、4年1組、4年2組でした。すばらしい学級です。他のクラスも負けられないように頑張ってもらいたいと思います。これらの取組により、給食委員会のみんなの気持ちはきっとみんなに届いたと思います。主体的な取組、ありがとうございます。

今年度は、例年行われる「朝食キャンペーン」の取組は行われませんでした。けれど、1日のスタートである朝の食事はとても大切です。保護者の皆さんもご存じと思いますが、朝ご飯をきちんととると、「頭のスイッチ」、「体のスイッチ」、「おなかのスイッチ」が入ると言われています。朝食の大切さを放送や掲示物を使って子供たちに伝えていきます。また、朝食をとってきたかを尋ねたいと思います。朝は忙しい時間とは思いますが、子供が元気に毎日過ごすため、そして大人になってから健康に生活できるため、バランスのよい朝食を子供たちにお願

あったかい電話がありました 八千把小学校の子供の優しさに心ホッカホカ!



6月25日(木)に田中東町にお住まいの方からお電話がありました。そのお話を聞いた私たち教職員の心はほっかほかになりました。その電話の内容をお知らせします。

田中町児童公園で3歳と2歳のお子さんを遊ばせていたとき、八千把小学校の子供たち(4年生の男の子1人と女の子2人、そしてそばにいた子供たち数人も一緒に遊んで)がとても優しくそのお子さんを遊ばせてくれたそうです。そのとき、小学生に「どうしてそんなに親切にしてくれるの?」とたずねると、「学校の道徳の時間に、優しくすることの大切さについて勉強したから」と答えたそうです。お電話

をされた方は、その言葉を聞いて、とてもすごい、学校ではどんな取組をされているのか聞きたいと思い電話をされたそうです。そして付け加えられたことは、「今回のことだけではなく、八千把小学校の子供たちは普段からあいさつをしてくれます。そしてすごいことは、あいさつに加えて、今日は天気がいいですねとか、子供には、何をして遊んでいるのとか、プラスアルファの声かけをしてくれ、いつもその優しさで胸がいっぱいになります。」ということでした。

学校の取組の素晴らしさをこの方はおっしゃいましたが、私は、八千把小保護者の方の子供に対する温かいしつけのたまものだと強く感じました。子供はきっとご家庭で行き交う優しい言葉をしっかり聞いていたのでしょうか。これからも、保護者の方と連携し、優しさあふれる子供たちの育成に職員とともに取り組んでいきたいと思